

校長室だより



令和2年7月13日

校長 齋藤 瑞穂

小さな一歩を大きな流れに

～みんなで減らそう レジ袋チャレンジ～

今月1日から、プラスチック製のレジ袋が有料化されました。環境省の「みんなで減らそう レジ袋チャレンジ」キャンペーンのニュースや広告をテレビで見たという人もたくさんいるでしょう。なぜ、レジ袋を減らそうとしているのでしょうか。それには、深刻な海洋汚染の問題が関わっているのです。

2010年に世界の海に流れ出てしまったプラスチックごみの量は、アメリカの研究者によると、478万～1275万トンだそうです。数字が大きすぎて想像がつかないですが、このプラスチックごみの量が2050年には地球のすべての魚の量を上回ると予想されていると聞くと、問題の重大さがわかりますね。環境省のキャンペーンのアンバサダー（イメージキャラクターのような人）の一人、さかなクンは、海中をクラゲのようにただよっているレジ袋をエサとまちがえて食べて死んでしまう魚のことや、海の中でとても小さくなったプラスチック（＝マイクロプラスチック）が原因で沖縄のサンゴ礁が大きな被害をうけていることを、以前からうたえています。



海中をただようプラスチック 魚が今にもすいこみそうです。

今回有料化されたレジ袋が日本のプラスチック全体の量に占める割合は2% だそうですから、例え

レジ袋がゼロになったとしても、それでプラスチックごみ問題が解決するわけではありません。これをきっかけにして、プラスチックごみが環境へ与える悪影響について関心を高めることがキャンペーンのねらいです。レジ袋を受け取らないという小さな一歩を、やがて未来の地球の環境を守るための大きな流れとしていけるのか・・・未来を生きるみなさん一人一人の行動が問われています。

各学年の活動をしょうかいするモニターをつけました。

7月になって、エビホールに新しいモニターが取り付けられました。みなさんは気づいていますか？

このモニターは、みなさんの学校生活の様子をしょうかいするためのものです。

新型コロナウイルス感染防止のため、全学年が集まる全校朝会や児童集会、音楽朝会などができなくなり、自分の学年以外の活動を知り合うことがむずかしくなっています。また、お家の方々は、学校でのみなさんの活躍を観る機会がほとんどなくなっています。そこで、少しでもみなさんの日ごろの活動の様子が伝えられればと、モニターを準備したのです。

今は2年生の様子が上映されていますが、順番にほかの学年の様子も流していきます。楽しみにしていてください。



保護者の皆様

7月初めからの大雨で、甚大な被害を受けられた九州各地の被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、例年であればこの時期開催される「杉七金踊り」。今年は残念ながら中止ですが、学校では、せめてオープニングで披露される伝統の「杉七子ども太鼓」(3～6年)だけでも発表させたいと、アイデアを練っています。2学期以降、何らかの形で披露できるようにしていきますので、どうぞ楽しみお待ちください。